

# 【活気あふれる14団結もちつき大会開催！】 2015年も 「もち」のように 粘り強く闘おう！



「ええっ…なんで総選挙？！」と多くの人がびくくりマークと疑問符を抱え込んでしまった総選挙を翌日に控えて、恒例の団結もちつき大会が開催されました。

最初に主催者を代表して中村委員長よりのあいさつは「もちつき実行委

員会のみなさんにまずはお礼を」という言葉で始まりました。「明日の総選挙、入れる人がおらん状況で自民党圧勝が予想されるが投票へは行こう。港合同は市民と団結して平和と安心して生活できる社会の実現を求めている。昨年に引き続き四〇

数年ぶりに争議がないもちつき大会になっている。

十二月十七日には入れ墨アンケート裁判の判決（入れ墨調査拒否で「処分」は不当と大阪市に賠償命令が下りた）がある。

労働者の団結権を破壊するのは簡単ではないのだ。労働者らしく、公務員らしく生きていくために橋下市長のような人間を追いつつらう」。

続いて、おくの正美議員の事務所からおくのさんの後継者である江川さんからは「（総選挙に）七億使ってなにをするんや」と言いつつも投票の呼びかけがあり、大阪で橋下市長になってから

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



もちをつく江川広志さん

明らかに格差が広がっているという指摘がありました。そして、南大阪平和人權連帯会議です。「演壇から港合同の団結はちまきのしっかりした組織力を見た」と、十一月二十八日に行われた不当処分撤回集会への参加のお礼の言葉がありました。

「橋下市長が積み重ねた不当労働行為の数々を法的に断罪し、政治的に断罪していく」そのための引き続きの支援の要請があり、共に闘っていくことを確認できたと思います。

全港湾建設支部の泊委員長は「冬の一時金闘争を三、四の分会が闘っている最中です。港合同と一緒に闘う場面が増えていきます」建設支部は青年部を中心に、沖縄・辺野古の基地建設反対闘争に（カヌー隊にも）参加しています。泊委員長は言います。「一九七〇年の祖国復帰闘争の時、沖縄の自己決

定権を踏みにじる琉球処分の内容を知らないでスローガンを、闘いの方針を書いていた。アメリカの占領地だから『沖縄奪還』『米軍政打倒』『沖縄解放』と」。十一月の県知事選で辺野古新基地建設反対を掲げて翁長さんが当選しました。仲井真さんと十万票の差をつけて。沖縄の民意は明らかです。

そして、連合大阪の中でがんばる大阪地域合同労組のTさん。「地域と共にがんばっていききたい」と市職市税事務所支部の仲間。プリマ労組関西支部のNさんは「四十六年と八ヶ月。来年二月に再

雇用満了で退職します。分裂以来ここまで来れたのは港合同の仲間の支援があったから」と挨拶されました。斎場労働者の不当解雇撤回を求める会は四年五ヶ月に及ぶ裁判闘争を闘っています。関西合同労組、被災地企業組合からは「『六割の企業が賃上げをしているではないか』と息巻く安倍には労働者の七、八割をしめる中小零細企業のこととはまったく見えていない」と経営者を巻き込んだ業種別の闘いの取り組みの報告と一月十一日の阪神大震災二十周年集会への参加の呼びかけがありました。八尾北医療セ

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

ンター労働組合の灰垣書記長は「民営化絶対反対で二十年間闘ってきた。自治体丸ごとの民営化に反対していく」と述べられました。

朝鮮総聯の沈基鳳委員長からは「忘年会とは言わずに送年会という。二〇一四年をうまいこと送り、二〇一五年に移行しよう」という意味でこの言葉を使います」「五年前、京都朝鮮第一初級学校前での在特会のヘイトスピーチに対して、十二月十一日、最高裁が在特会の損害賠償を認める判決を出した。司法界が初めて民族教育を認めた」という報告と「来年一月、朝高

ラグビー部が六年連続して全国大会花園へ行く。応援してください」。

## 基調報告は 玉置事務局長

二〇一四年末、第二次安倍政権が暴走を始めた。「大企業から儲けていく。それが下にしたり落ちる」と言い放ち、消費税を八%に引き上げ、儲けている企業には法人税の減税。赤字企業からは税を取ろうとしている。貧富の差は拡大する。地球規模で富を追い求めるグローバル化の宿痾。経済のために私たちの生活があるのではない。

労働時間規制の適用を除外する残業代ゼロ法案、ホワイトカラーエグゼンプションが蘇ろうとしている。労働者をしぼりとれるだけしぼらないと生き残れない企業とはいったい何なんだろう。

戦争へ向かう国造りは歴代の内閣のなかで群を抜いている。七月一日には集団的自衛権の閣議決定があり、特定秘密保護法も成立させた。国民の知る権利を奪い、自衛隊を変貌させる。日本を危ない状況に追い込んでいく。

原発事故などなかったように各地で再稼働の策動が進んでいる。「我が



基調を提起する玉置事務局長

亡きあとに洪水よ来たれ」とばかりに電力会社や原発マネーに群がる者たち。自分の会社が儲けさえすれば、自分さえ金儲けでよくなれば、誰が苦しもうが死のうがおかまなしなのだ。

しかし、沖縄の県知事選では辺野古新基地建設反対で仲井眞を倒し、翁

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

長知事が誕生した。オール沖縄の圧勝だった。戦争国家化の反撃の一步として沖縄の闘いがある。

南大阪平和人権連帯会議や入れ墨アンケート拒否者の闘いで橋下は押しまくられている。大阪の様々な場所で反橋下で一致して闘っている。

港合同はネグロス分会が昨年九月、最高裁で命令が決定したにも関わらず団交拒否を続けている。南労会支部は勝利的和解以降、組織の拡大と強化をはかっている。

明日は総選挙。棄権することなく、それぞれが生活者の視点に立って一票を投じよう。来年は敗

戦から七〇年。敗戦の意味を捉えようとしめない安倍は加害の歴史の見直しを始めている。東アジアを軽視し、対米従属に徹している。港合同、二〇一五年は大いに活動のウイングを拡げよう。

最後は昌一金属支部・N委員長の団結カンパローで締めくくられました。もちつき大会らしい寒風吹きすさぶ集会でした。昌一金属支部の青年労働者を中心にもちがつかれる傍らで、ほとんどの参加者が火の気のない所で多くの発言に集中していました。そんな中でバタバタとメモをとる記者



(私)のために、ストーブの前にそっとイスを置いてくれる事務局次長の隠れた優しさにビックリするおまけまでついた団結もちつき大会でした。おもちは言うまでもなくおいしかった。

編集委員 T

ビョンヤン宣言のすみやかな履行と日朝国交正常化の早期実現！！  
**日朝友好（西・港・大正）新春の集い**

▽日時：2月13日（金）18：30～

▽場所：港区民センター 大ホール

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！